

1 ——— ☆☆☆ メールマガジン ☆☆☆ ———

2

3

4

派遣現職教員メールマガジン

★ 2008/2/13 第5号 ★

5

6

7

8

9

contents

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

47

48

49

50

51

52

53

54

55

56

57

58

59

60

61

62

63

64

65

66

67

68

69

70

71

72

73

74

75

76

77

78

- ◇◆◇ はじめに ◇◆◇
 ◇◆◇ 筑波大学附属小学校からお知らせ ◇◆◇
 「帰国隊員先生の経験を生かした授業づくり」のお知らせ ◇◆◇
 ◇◆◇ JICAからお知らせ ◇◆◇
 ◇◆◇ 平成19年度帰国隊員報告会から ◇◆◇
 ◇◆◇ 帰国前にやっておくといいいこと ◇◆◇

- ◇◆◇ はじめに ◇◆◇

先週先々週と今年一番の寒さで、活動が休止（冬眠？）してました。
 寒さの後は春が、でもその前に今年はスギ花粉が大飛散するそうです。
 帰国してたちまち任地が恋しくなる平成18年度隊の方もいるかもしれませぬ。
 ということで任地での最後の仕事のヒントを用意しておきました。

- ◇◆◇ 筑波大学附属小学校からお知らせ ◇◆◇

「帰国隊員先生の経験を生かした授業づくり」
 (文部科学省国際教育協カイニシアティブ拠点形成事業)

筑波大学附属小学校国際教育協カイニシアティブ拠点形成事業プロジェクトチーム

1. 趣旨

筑波大学は国際教育協力を附属学校運営の柱の一つにしている。加えて、附属小学校もこの課題に取り組む以前から各教科研究部において自主的に国際教育協力の取り組みを行ってきた蓄積を持っている。これらの点から、附属小学校では、平成18年度より文部科学省の青年海外協力隊派遣現職教員の支援事業に取り組むこととなった。本年度は、帰国隊員支援を事業の重点とした。前2回のパネルディスカッション・ワークショップでは現職派遣教員が、帰国後に任地での経験をどう還元しているのか実態をさぐってきた。今回は派遣経験をどのように授業化するかについて検討したい。

2. 公開授業（13：00～13：40）

4年 総合学習「パラグアイってどんなところ？～南アメリカのことを知ろう～」
 授業者 小澤明子・鎌田和宏（本館2階 総合学習室）

3. 研究発表・研究協議・講評（14：00～15：30）

授業提案

神奈川県相模原市立上溝小学校 小澤 明子
 筑波大学附属小学校 鎌田 和宏

研究協議（パネルディスカッション）

パネリスト

西澤 浩氏
 （長野県上水内郡中条村立中条小学校 JICAと連携した国際理解教育の実践）

中西佳子

（和歌山県新宮市立王子小学校 平成17年ニカラグア派遣）

笹野恵理子

（京都教育大学）

講評 中山京子先生（ノートルダム女子大学）

4. 申し込み

事前申し込みが必要です。本校ホームページから、または直接下記のURLの申し込み方法をのらんの上infotsukubaes@gmail.comまでお申し込みください（2月13日〆切）
<http://homepage2.nifty.com/kamata/tsukuba/kyoten/>
 infotsukubaes@gmail.com

- ◇◆◇ JICAからお知らせ ◇◆◇

★サイエンス・プロデューサーとして全国の公演、テレビで大活躍中の米村でんじろう先生と、青年海外協力隊OB、OGのみなさんでお届けする、春休みのビックイベント★

でんじろう先生が見たアフリカ理数科教育の世界
 ～「体で感じる」サイエンスショー&青年海外協力隊OB/OGとの座談会～

79

80 1 開催日：平成20年3月30日（日）
81 2 時間：13：00受付 13：30開演 15：45終了／ボランティア個別相談
82 会（希望者のみ）
83 3 場所：JICA地球ひろば（東京・広尾）
84 4 定員：約300名
85 5 対象：青年海外協力隊（特に理数科教師、小学校教諭等）を目指す方、国際協力を
86 関心を持つ教員の方、学生（小学校高学年以上が望ましい）、一般の方

87

88 6 概要：地球ひろばでは、TICAD IV前の3月&4月は「元気！アフリカ！！（仮）
89」と題した企画を実施中。その一環として、JICAのアフリカへの教育支援について、楽し
90く理解できるイベントを開催します。
91昨年9月に、ケニアのJICA教育分野プロジェクト現場を訪問された米村でんじろう先生に
92よる「体で感じる」サイエンスショー、そして、アフリカに派遣された青年海外協力隊理
93数科教師OB、OGによる臨場感満載のトークイベントを行います。
94どこでも手に入りそうな、身近な素材で楽しい科学実験を披露するでんじろう先生のサイ
95エンスショーは、協力隊員を目指す方には、とっても参考になるかも！イベント終了後、
96ボランティア募集個別相談会も開催します。

97

98 7 お申し込み方法：
99 メールまたは、お電話にて「お名前、ご職業（学生、会社員、主婦など）、参加申し込
100み人数、緊急連絡用の電話番号、ボランティア募集個別説明会に参加希望の有無、本イベ
101ントを知ったきっかけ」とともにお申し込みください。メールの場合、件名に「でんじろ
102う先生イベント参加希望」とお書きください。（先着順）

103

104 8 お申し込み先：
105 JICA地球ひろば 地球案内デスク「でんじろう先生イベント」係
106 メールアドレス：chikyuhiroba@jica.go.jp
107 フリーダイヤル：0120-767278
108 受付可能時間（月曜日休館）
109 （平日）10時～20時
110 （土・日・祝）10時～18時

111

112

113

114 ◆◆◆ 平成19年度帰国隊員報告会から ◆◆◆

115

116 だいぶ時間が過ぎてしまいましたが平成19年度帰国隊員報告会を
117 1月5日に開催しました。

118

119 今年度は帰国後の活動について4名の方に発表していただきました。
120 うち3名が派遣現職教員で、1名が筑波大学附属小学校の教員です。
121 帰国後の活動におけるネットワークについて経験をもとに発言して
122 いただきました。興味のある方は下記のホームページをご参照ください。

123

124 ホームページ http://www.criced.tsukuba.ac.jp/jocv/old/sympo_h19_report.html
125 動画（かなり重いです） http://www.criced.tsukuba.ac.jp/jocv/old/sympo_h19_repor
126 t2.html

127

128

129

130 ◆◆◆ 帰国前にやっておくといいこと ◆◆◆

131

132 帰国前に派遣国でやっておくと役立つこと

133

134 梯先生（平成17年度）から
135 （1）日本の配属先の学校長と帰国後のことについて話をする
136 （2）任国の写真やビデオを撮る。私はガーナの世界遺産や奴隷貿易が行われた
137 場所などの映像を撮りました。
138 （3）任国について書かれた本や任国でしか手に入らない物を買っておく。
139 *（2）と（3）は日本では入手できない生きた教材になると思います。
140 （4）帰国後も使える隊員間のネットワークを作る。
141 （5）帰国後も使える任地の人たちとのネットワークを作る。

142

143 北原三代志先生（平成15年度）から
144 （1）その国の料理を作れるようにしておく。私の場合はカレーですが、いろいろな場面
145 で役に立ちます。食文化というのはその国を紹介するのにわかりやすいと思います。
146 （2）その国の楽器ができるようにしておく。これはできませんでした。今習っておけば
147 よかったと後悔しています。バングラデシュではハルモニアというアコーディオンに似た
148 楽器とトブラという太鼓がポピュラーな楽器です。トブラを教えてくれる教室が近くにあ
149 ったので、習っておけばよかったと思っています。
150 （3）自分の活動中の写真を撮っておく。皆さんたくさん写真は撮ると思いますが、意外
151 と自分が活動している写真をいうのは少ないんです。私のもほとんどありません。帰国報
152 告会や何かの発表には必要になると思います。
153 （4）その国の問題となっていること（写真）。例えばストリートチルドレン、物乞いの
154 人たちの写真というのは何か申し訳なくて撮りづらいと思いますが、その国の問題点を紹
155 介するときには必要になると思います。
156 （5）毎日日記をつける。今もこれが貴重な資料となっています。

157

158

159

160 ◇◆◇ 担当者からのお願い ◇◆◇

161

162 引き続き、海外・国内活動紹介地図作成のための資料をお待ちしています。

163

164 18年度1次隊・19年度1次隊の先生方 → 活動の様子や環境が分かる写真1枚+文
165 章（400字）

166

任地の緯度と経度

167

168 14年度1次隊～17年度1次隊の先生方 → 海外経験の還元活動写真1枚+文章（4
169 00字）

170

171

172 * * * * *

173 鎌田 亮一 (Ryoichi KAMADA)

174 kamada@criced.tsukuba.ac.jp

175 (メールマガジン担当)

176 筑波大学教育開発国際協力研究センター

177 〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1

178 TEL/Fax 029-853-6573

179

* * * * *